

平成 21 年 7 月 13 日(月)

発行 宮崎中学校区地域教育会議

議長 阿部 雅朗



宮崎中学校区

地域教育会議だより

第26号

議長のあいさつ

みなさんこんにちは。議長をさせていただいております阿部です。

日頃より「あったかまつり」をはじめ、地域教育会議の活動にご協力をいただきありがとうございます。先日電車で『世界一テレビ漬』という塾の広告が目につきました。その内容は「日本の中学生は1日平均2.5時間テレビを視聴、世界49ヶ国の中で最長。宿題は1日約1時間で世界最短レベル。学力向上はテレビ依存を脱することから」というものでした。テレビ、携帯、ネットといったメディアはすっかり私達の生活の必需品となっている一方、多くのトラブルの原因にもなっています。

当会議では『大人が変われば子どもも変わる運動』を活動のテーマに掲げ、私達「大人」が意識と行動を変えて子ども達を守っていかなければいけないと考えます。これらの便利な道具との付き合い方を親・学校・地域が子ども達と共に考えていきたいものです。本年もよろしくお願いいたします。

各委員会の紹介

★地域教育委員会（宮崎小学校担当）

「こどものための勉強会」こども会議の開催
ポスター展・春のコンサートを予定

★広報委員会（宮崎中学校担当）

広報誌「萌」の発行（年3回）

★生涯学習委員会（梶ヶ谷小学校担当）

「大人のための勉強会」教育を語る集いの開催
地域懇談会「あいさつ～part2」を予定
(10/20(火)pm6～8 宮崎中学校特別活動室)

★事務局（西梶ヶ谷小学校担当）

運営委員会・定例会の開催事務等

地域教育会議には各学校に担当の先生がいらっしゃいます。ご存知でしたか？先生方は私たちと共に、地域の子育てや住民の生涯学習支援の活動をしています。今年度担当の先生方を紹介します。

宮崎小学校

「学校・家庭・地域の連携」

核家族化による家庭の教育力の低下・地域社会の教育力の低下ということが社会問題になって、学校・家庭・地域の連携をより深めていくことが重視されるようになってから、ずいぶんと時がたってきているように思います。また、時代の進歩とともに学校や家庭が抱えている問題も多様化してきてます。そんな状況の中で、社会の変化に対応できるよう、地域のコミュニティ作りの核として地域教育会議の果たすべき役割は何かをしっかりと考えていくことの大切さを感じています。(富田 晃由)

西梶ヶ谷小学校

教務主任になって2年目ですが、この役割に就くと、子どもがたくさんの人に助けられていることがわかります。そして、地域教育会議担当としても2年目の今、子どもは、地域の方々に支えられ、毎日を過ごしていることを強く感じます。

大学生と小学生の息子も、私の住む地域で、誰かに助けられ、支えられて大きくなっていると思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。私も、この宮崎中学校区でそんな誰かになりたいと思っています。よろしくお願いします。(岩倉 義則)

梶ヶ谷小学校

川崎区の旭町小より梶ヶ谷小に転任しました「家才子（やさいこ）」と申します。全国にも3件ほどしか無い珍しい名字です。

さて、4月からこれまでの間に、運営委員会と総会の二つを経験しましたが、学校の職員ではなく、地域の皆様が主体となって運営されていることに、まず驚嘆いたしました。

お仲間に入れていただけること、大変、光栄に思います。

今後ともよろしくご指導、お願いいたします。(家才子 雅樹)

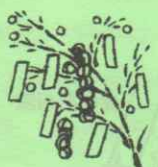
宮崎中学校

本年度、地域教育会議の教職員委員になりました町田です。
よろしくお願いします。

一昨年、宮崎中学校に赴任して来たときも教職員委員として1年間お世話になり、宮崎中の現状をお話しながら、様々な側面からご理解とご協力を頂き、落ち着いた学校づくりの大きな力になりました。ありがとうございました。今後とも地域の情報交換や行事等を通してより明るく、健全な地域をめざしていきたいと思います。(町田 覚)

6月4日の地域教育会議の総会に参加させて頂き、組織の大きさに驚きました。地域からの学校への期待や責任を感じながら今後も日々努力していかなければいけないと考えています。
ご指導よろしくお願いいたします。(上田 一成)

★コラム★



7月は「ふみづき」 “日本らしい古き良き習慣を教えよう”



7月は文月と書いて「ふみづき」または「ふづき」と読んできた。稲の穂が見えるようになってくるので「ほみつき」ともいい、これから「ふみつき」になったといわれ、「穂月」が「ふつき」になったといわれる。また、「七夕の月」と言い、たなばたに文を書き、さらすことから「文月」とよばれるなど、星の願いを文にしたためたので、天の川の向こう岸に届けるとい話しからとも言われている。

7月に入っても梅雨が残り、むし暑い日々である。集中豪雨などもあって地盤のゆるむ地域では崖くずれなどが発生する。関東地方南部の神奈川県、千葉県、東京などは、太平洋高気圧の範囲に入って気温がのぼり、下旬ごろは暑期に入る。この時期「日本らしい風物」といわれるのが、「夕立、雷、虹、夏草、風鈴、浴衣、打水、虫かご、花火」などである。日本の風物として7月頃の気候の中から生まれたのです。

この歴史の良さを子どもたちに、どのように教えているのでしょうか。若者の姿が欧米風になることが文化向上とはいえない。それぞれの家庭で、両親がたどってきた過去的生活文化の中から、「私の出生地ではこんな姿で生活ができた喜びが今も胸に残るのだ」と、古き良き習慣を、今の若い世代の人たちに教えてゆくことが、日本伝統の生活を尊重しながら、現在の日本文化向上に、地域社会の人たち一人一人が自覚して、すばらしい社会づくりに奉仕できるように努める時代である。

(及川 利男)

各学校のイベント

7/21(火)22(水) 宮崎小学校：宮崎小4年生対象
子ども安心安全協議会主催「地域安全マップ」作り
10/17(土) 梶ヶ谷小学校 「にこにこフリマ」
11/1(日) 西梶ヶ谷小学校 「グリーンカーニバル」
11/3(火) 宮崎中学校
「宮崎中フェスティバル&
地域教育会議あったかまつり」
11/7(土) 宮崎小学校 「ふれあいまつり」
学校へ行かれる時は、お車でのご来校はご遠慮下さい。

各町内会の催し



◎盆踊り

7/24(金)7/25(土)

梶ヶ谷全町内会・有馬町会

7/25(土)7/26(日) 大塚町内会

7/31(金)8/1(土) 東有馬町会

8/1(土)8/2(日) 馬絹町内会

◎スポーツフェスティバル

10/31(土) 大塚町内会

※今年もあったかまつりでは、フリーマーケットの参加者を募集します。

お気づきでしょうか？

宮崎中学校と青少年の家の4差路のところに信号機が設置され、
早4ヶ月が経ちました。

まだ、認識が甘いためか赤信号で通り抜けていく車があります。

子どもたちの見本となる大人も交通ルールを守りましょう。



編集後記

広報誌「萌」として、第1号を発行したのは、平成13年7月。早いもので、
今回で26号となりました。4校連携の地域社会の教育の向上・充実・発展のため、
広報委員一同、活動を続けてまいります。ご期待下さい。

企画・構成：宮崎中学校区地域教育会議 広報委員会



宮崎中学校区地域教育会議は、川崎市教育委員会と川崎市地域教育会議推進協議会の
委託事業です。「市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織」であり、
非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として、平成10年度に発足しました。

各学校の保護者・教職員・地域住民が参加し、地域の子育て、住民の生涯学習支援を
目的とした活動をしています。